

教育事業別報告書

事業名	なすかしの森サイエンス・キャンプ
趣 旨	なすかしの森での体験活動を通じて家族のふれあいの場や、家族同士の交流の場を提供すると共に、「宇宙と天体」や「雪」をテーマに子供たちに科学的な視点で自然を観察することの面白さを知ってもらうことを目的とした。
期 間	第1回：平成27年1月24日（土）～1月25日（日） 1泊2日 第2回：平成27年2月28日（土）～3月1日（日） 1泊2日
募集人員 (募集結果)	第1回：幼児、小・中学生を含む家族57名(内宿泊：54名、日帰り3名) 第2回：幼児、小・中学生を含む家族178名(内宿泊：51名、日帰り127名)

① 事業の特色

第1回は「宇宙と天体」における興味関心を高めた。1日目は国立天文台から臼田-佐藤 功美子先生と、JAXAの木場田 繁先生による講演を行った。臼田先生には「ハワイの天体望遠鏡」に関して、木場田先生には「小惑星探査機はやぶさ2」に関する講演を頂いた。夜は天体観測を行い、月とラブジョイスイ星の観察を行った。2日目は、国際宇宙ステーションの観測や、「はやぶさ2の模型」と「ケプラー、式望遠鏡」作りを行った。作成した望遠鏡を使って実験を行った。



【天体観測（第1回）】



【望遠鏡作り（第1回）】

第2回は「雪」をテーマに、スノーモービル乗車やネイチャースキー、スノーシューハイキングなどの体験ブースを設置し「雪まつり」を実施した。夜はキャンプファイヤーと雪の結晶観察を行った。2日目はグループに分かれての雪像作りと温度計作りを実施した。どのグループも素晴らしい雪像が出来上がった。温度計作りでは、暖かい部屋と外の温度の差を、実験により観察してもらった。



【雪像作り（第2回）】



【ネイチャースキー（第2回）】

② 事業の成果と課題

〈事業の成果〉

- ・天体観測や国際宇宙ステーションの観測など、施設の立地を活かしたプログラムを実施でき、参加者の満足度が高かった。
- ・「雪まつり」では宿泊だけでなく、日帰りでも参加できるようにしたことから、より多くの参加者に楽しむことができた。

〈事業の課題〉

- ・ 募集定員に達しなかった為、今後は広報活動などに力を入れて行いたい。
- ・ 第2回の「雪まつり」の日帰りの参加は、次回以降参加者が大幅に増えることを想定して、事前申し込みなどの検討が必要である。

③ その他

・ 第1回では「専門的なお話を分かりやすく講演して頂けて面白かった。」や「（天体観測で）月のクレーターに感動した。」、「望遠鏡作りが楽しかった」という感想が多かった。第2回では「サイエンス体験ができて良かった。遊びの中で学ぶことができ良かったです。」や「雪像作りは、子供も大人も本気になって取り組むことができた。」などの声があった。